

# 代議員会 会計についての説明資料

代議員会 各位様

(一社)京都府聴覚障害者協会財政部長  
岩井武志

日頃の活動、おつかれさまです。

会計資料は本来であれば、1週間前に送付するべきですが、資料作成が時間かかってしまい、今から送付すると間に合うかどうか、心配になりました。当日資料配布することになりました。大変遅くなってしまいましたこと、お詫び申し上げます。

誠に申し訳ないのですが、代わりに少しでも早く、会計資料をメールで代議員に送り致しますので、よろしくお願い致します。

# 1. 2016年度決算書について

## 【収入】

### 2016年度の会費収入

予算に計上していた643名→627名へ会員収入(8名減少)  
昨年度会員は635名

### 補助金収入

(一社)府聴障協認可60周年事業への補助金→府20万円  
第48回近畿ろうあ青年研究討論会への民間助成金→25万円  
(京都府共同募金会10万円・京都オムロン15万円)  
手話言語シンポジウム助成金→58万円

委託事務費 75万円(市聴障協より)

- 会費収入 : 昨年度決算 7,534,400円(28,700円減少)  
    予算編成:目標640名
- 機関紙事業収益 : 昨年度決算 1,428,250円(82,500円増加)
- 各種事業収益 : 昨年度決算 290,510円(270,205円増加)
- 出版事業収益 : 昨年度決算 2,788,567円(1,555,522円増加)
  - 収入 : 出版事業収益 4,344,089円
  - 支出 : 書籍仕入 3,584,687円
- その他の収益 : 「段また段を成して」上映会  
    2月20日現在までに府内にて開催いたしました。  
    上映会の鑑賞者数は425人

収益差額  
759,402円

# 本協会活動を支える財政的基盤

## ①会員拡大の取組み

結果は627名でした。640名を目標達成できなかった。  
組織部主催で会員減少をストップさせよう！緊急組織フォーラムを開いて、みんなと一緒に考えさせられました。  
2017年度は10名増やしましょう！

## ②出版物の販売収入増に重点的に力を入れた

●4月～9月収益は508,756円

上半期目標50万円を達成できました。

●10月～3月収益は250,646円

下半期目標50万円以上を達成できなかった。

## 【支出】

- 2016年度必要性の度合いによって厳しく支出費を抑えていきました。

行事見直し実施(財政面)

- ・文化祭予算を生活訓練事業に取り入れた。
- ・文化クラブ(健康体操、将棋、手芸)予算を生活訓練事業に取り入れた。

同じ事業をまとめることにより、行事を減らした。

2015年度決算での赤字を踏まえ、機関紙発行事業費を抑制し、支払交付金・専部、事業・行事一部他25%カットしました。

- 2016年度の半期決算報告を10月理事会にて報告できました。

黒字になる対策を話し合いました。

①会員拡大②京都ろうあニュース購読拡大③出版物普及の取り組み

★2016年度の一般会計収支計算の当期収支差  
454,198円 黒字決算

## 2. 出版販売活動における会計

### ●出版収益はどれくらいか入っているか

昨年、出版会計にどれくらいの収益があるのか、決算書からは解りづらいこともあり、今期から書籍仕入高、売上高、在庫数、収入、支出、収益を明記した2016年度出版会計収支計算書にて報告致します

### ●財政的基盤は出版物の販売収入(事業部)

- ・2015年度よりも3倍に出版販売活動に力を入れた(積極的に行事への販売)
- ・各ブロックへの出版販売活動の計画を立てて、収益を確実に上げるための組織的な取り組み・季刊みみ、手話奉仕員養成事業関連テキスト、他など

### 3. F・K・D14チーム

#### 会計資料(当日資料配布)

- 今年度は、法人からの立替金100万円を返済しました。法人立替金の残額はゼロになりました。
- 府聴障協理事からの立替金100万円を返済しました。法人立替金の残額はゼロになりました。
- 府聴障協への債務は残額360万円

昨年度の負債6,768,000円を半分以上減額し、3,600,000円になった。

## 4. 2017年度予算書について

### 【収入】

- 会員630名設定
- 補助金等収入上がる見通しはない(昨年度維持)
- 不安定ある行事収益を頼らない

### 【支出】

- 機関紙発行事業費を抑制
- 支出改善、経費の節約



## 会費収入

- 会員数減少の歯止め(会員数の維持)
- 行事見直しを検討して会員拡大による効果的な取り組み

## 出版物の販売収入①

- 各支部において集会などの行事での販売活動に組織的な取り組み
- 出版販売活動計画
- 手話奉仕員養成事業(前期「入門」・後期「基礎」)
- 手話言語条例による取り組みという機会 手話辞典販売など
- 『手話でGo！ピンバッジ』完売目標
- 在庫多い書籍売りきれましょう

## 出版物の販売収入②

●計画的に販売収入による収益目標(1年間100万円以上)を達成したら、年中に必要なところを見直すのを検討する

### ①4月～9月の中間(半期)売上

出版収益目標(50万円以上)を達成した場合  
必要なところを支出するか協議する

### ②10月～3月の中間(半期)売上

出版収益目標(50万円以上)を達成した場合  
必要なところを支出するか協議する

## 5. 2017年度財政健全するための基本的な考え方

- ① 会員数減少の歯止め(会員数の維持)
- ② 出版物販売を前年度より増やす努力を
- ③ 支出改善、経費の節約に努める
- ④ 受取補助金等による行事運営費の正しい使い方(参加人数の基準)
- ⑤ 収益できる事業を工夫する

## 6. 科目について

### 【新設】

- ①第44回近畿ろうあ者体育大会
- ②第34回近畿手話通訳問題研究討論集会